

# なぜ、〇〇〇〇が 〇〇ないのか？

+デザインを覚えてください。  
+1スライドごとに、「画面切り替え」オプションを選んでください。  
+「アニメーション」を一杯追加してください。  
+画像・グラフを挿入してください。  
+文字種フォントを覚えてください。  
+スライド番号を挿入してください。  
+A4 一枚に縦横付き3スライド形式で印刷してください。

学籍番号：  
発表者名：  
ゼミ名： 先生

---

---

---

---

---

---

---

---

## 問題設定の経緯と背景

- 社会問題の中で、皆さんがなにを感じ、いくつかある問題の中からなぜそのテーマを選んだのか、その経緯を解り易く文書で表現する。
- 書き出しは、私たちが「なぜ、〇〇〇のか？」を選んだ理由は、〇〇〇の原因が何であるか疑問に思ったからである。  
この解決策を導きたくこの問題を選択した、書けばよい。

---

---

---

---

---

---

---

---

## 問題が生じる原因の分析 (フィッシュボーン参照)

- 上記の理由で設定したテーマについて、その問題が生じる原因をどのような討議法で分析し、原因としてどのような内容が挙げられたのかフィッシュボーンを用いて紹介するとともに、骨同士の関係やその図全体を観て、この特性の原因をどこにあると考え分析したのか、その経緯を解り易く表現する。
- 書き出しは、ブレインストーミング (BS)、KJ法で「〇〇〇〇」がいったいどのような原因で起こっているのかに視点を置いてみると、その根拠が見えてきた。以上の要因を整理しているうちに、「〇〇〇」の原因が大きく〇つの表札に集約されていることが分かった。これら〇つの要素(〇、〇、〇、〇、〇、…)が複雑に関連し、それぞれの構成要素をもとに「〇〇〇の問題」が発生する原因を分析した、と書けばよい。

---

---

---

---

---

---

---

---

### ブレインストーミングの4つの約束

- **自由奔放** (奔放な発想を歓迎し、とっぴな意見歓迎ジョーク歓迎する。)
- **批判厳禁** (各個人のアイデアに対して、批評・批判をゆるすな！)
- **量を求める** (数で勝負する。できるだけ多くのアイデアを出せ！)
- **便乗発展** (連想を働かせ出てきたアイデアを結合し、改善して、さらに発展させよ！)

---

---

---

---

---

---

---

---

### KJ法

- ① 情報収集とカード化:ブレインストーミングで収集した情報を、名刺大のカードに一件ずつ記入する。
- ② グループ化:カードの内容の類似性や親和性によって、あまり深く考えず直感的にグループ化していく。
- ③ 表札カードを作る:グループの内容を要約したカードを作る。グループが少なくなるまで、②から繰り返す。
- ④ 図解と文書化:大きな紙にカードを貼り、グループごとに線で囲む。この図解を見ながら分かったことを説明したり、必要なら文章にする。

---

---

---

---

---

---

---

---

### フィッシュボーン

ここにフィッシュボーン図を挿入する。

---

---

---

---

---

---

---

---

**問題解決のための具体的方法の分析  
(マトリックス図参照)**

フィッシュボーンを通して出された原因に対し、再度BSを用いて問題解決をするためには具体的に何をしたらよいか議論する。その結果出された具体的解決策をマトリックス図にまとめ、それぞれのメリット、デメリットに説明する。

---

---

---

---

---

---

---

---

**マトリックス図**

ここにマトリックス図を挿入する。

---

---

---

---

---

---

---

---

**問題解決策の選定とまとめ**

マトリックスによって導かれたそれぞれの解決策を選択し、実行に移すとよいか、決定した理由とともに、その方法を使うことによって問題点がどう変化することを期待しているかも含めて述べる。また、取り上げた問題に対して、この議論によって明らかになったこと・気づいたことを紹介する

---

---

---

---

---

---

---

---

おわり

ご〇聴ありがとうございました。

---

---

---

---

---

---

---

---